

ふれあい

2021
vol.101

高知高須病院 院内誌

特集

院内誌『ふれあい』が語る
100号の歩み
(P2~P7)



- たかす制服コレクション
- 人生いろいろすずなりリレー
- 「はるか」だより
- 「分院」だより
- 「話し方教室」研修
- 糖尿病療養指導士に合格しました
- ニューフェイス紹介
- 我が家の自慢のペット
- 初めての育児休暇
- ご結婚・ご出産おめでとう



「話し方教室」研修(P10)

我が家の自慢のペット



あなたに癒しのおすそ分け♥
動物と触れ合ったり見つめ合ったりする事で、心身の調子を整えると言われています。
この機会に心温まるメッセージと共に癒されてみませんか。ご応募お待ちしております。



びーちゃん



10月24日(てにしあわせ)は文鳥の日

安芸透析室 看護師 小原 奈津紀(おはら なつき)

ライトシルバー文鳥のびーちゃん4歳、基本的な鳴き声は「ピッ」。

皆さんは文鳥をご存知でしょうか?手乗り文鳥とも言われ検索をすると、手に包まれべたっとお腹をつけてぬくぬくとしている可愛らしい姿を見る事が出来ます。

残念ながらびーちゃんは手乗りには育てられず、

手を持っていくとキャルキャルと怒り噛みついてきます。

全然なついてないですが、びーちゃんを見ているだけでとても癒されます。

文鳥を飼ってみたいという方は雛の内に手の中で遊んであげることをお勧めします。



フー



バディ

フー & バディ

高知高須病院室戸クリニック 院長 清藤 啓之(きよとう けいし)

名前フーとバディ。犬種はウエルシュコーギーとボーダーコリー。生まれは石川県と大阪府。偶然ネットで発見されて温暖な高知に住み始めてもうすぐ8年になる。

得意なことはフェンス越の車との競争とフーは御主人が帰った時の八の字走り、バディはフリスビーが得意。性格比較ではフーはツンデレ犬、バディは甘えん坊

でいつも御主人の後にピタリと付いている状態である。好きな食べ物は肉より魚、特に夏は大好きな鮎を食べ、朝は庭の畑のトマトを自分で取って食べるのはフー、バディは取ってあげないと食べないなど、性格はまるで逆、雄同士だが仲がいいのか悪いのか?でも唯一言えるのは家での私の順位は2匹より下ということだろう。

初めての育児休暇



～ パパも参加 夫婦の絆深まる ～

安芸透析室 看護師 徳広 里貴 (とくひろ りき)さん

令和2年12月に第1子が誕生し、それに伴い3ヶ月の育児休暇を頂きました。

私が育児休暇を頂くと思ったのは学生時代の母性実習で女性視点での育児を学んだ時に、産後の母親は心身共に父親の支えが必要だと感じたことがキッカケです。ですが、いざ我が子を目の前にすると不安で、娘が寝てるだけなのに息をしているか心配になって何度も確認したりしました。

育児期間中は奥さんが夜ゆっくり寝られるように夜間の授乳とおむつ交換は私が担当したり、便秘になった時は浣腸をしたり、いろいろな経験をさせてもらいました。

夫婦お互いに頼り頼られる関係で、夫婦の絆も深まったのではないかと感じます。これからも家族に頼られるパパを継続できるよう頑張っていきたいです。



[尚腎会 2021年6月の診療実績]

●外来患者数/3,425人 ●紹介患者率/23.0% ●新入院患者数/95人 ●退院患者数/106人 ●平均在院日数/16.9日 ●病床利用率/68.8%

高知高須病院
医療法人 尚腎会

高知高須病院
医療法人 尚腎会

■院内誌「ふれあい」vol.101 ■発行日/2021年9月25日
■発行所/高知高須病院 高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377
■http://www.takasuhp.or.jp ■発行人/池辺弥夏 ■編集/広報委員会
■印刷所/(有)三宮印刷 高知市潮新町2-14-8

右記のQRコードより、高知高須病院の携帯サイトに簡単アクセス!





13号 楽しい慰安旅行(1994年2月)
北海道広いなあ! グルメを満喫



9号 県内民間病院初!
腎移植成功す!!(1991年12月)

母から娘への生体腎移植。民間病院としては県内初、四国県内でも3例目の実施。当時の様子は高知新聞にも取り上げられた。



15号 釣りクラブ誕生(1995年3月)
船酔いあって10人でグレ2匹...

特集 院内誌『ふれあい』が語る 100号の歩み

院内誌『ふれあい』は前号で100号を迎えました。今回はその歩みを当時の掲載記事と一緒に振り返ってみました。



今から33年前の1988年8月、『ふれあい』は誕生しました。創刊にあたっての寺尾会長(当時院長)の言葉(一部)を紹介します。

待望の院内新聞が発行されることになった。名は『ふれあい』。誰が名付けてくれたか、素晴らしい名称と思う。
人と人がふれあい、感じ、喜び、悲しみ、苦しみ、そして成長していく。それを通して、小さな輪の中で知己を深め連携を固くしていく。そして、小さな輪同士が寄り添い、また個々に大きく成長して、さらに大きな輪へと広がって行く。
まさに、今日の尚賢会の成長の根源の一つは、ふれあいを大切にした結果であり、今後の発展も、それを基盤にしたいと思う。

『ふれあい』100号の歩み

- 創刊号 1988年8月(昭和63年)
 - 『ふれあい』創刊
 - 体外衝撃波尿路結石破碎装置導入へ
- 2号 1988年11月(昭和63年)
- 4号 1989年7月(平成1年)
 - 4週6休制導入から1年経過
- 5号 1990年6月(平成2年)
 - 南診療所新築工事完成
- 8号 1991年7月(平成3年)
 - シカゴ大学およびアメリカ泌尿器科学会に寺尾尚民院長出席
- 9号 1991年12月(平成3年)
 - 県内民間病院初、腎移植成功す!
- 11号 1992年10月(平成4年)
 - 安芸分院夜間透析開始
 - 南分院透析開始
- 13号 1994年2月(平成6年)
 - 慰安旅行 北海道へ
- 15号 1995年3月(平成7年)
 - 釣りクラブ誕生
 - 沖の島 初釣行
- 23号 1998年11月(平成10年)
 - 大水害・本院も冠水被害特集
- 24号 1998年12月(平成10年)
 - 第1回高須カンファレンス開催。外部から11人の先生方に参加いただき送迎バス『うらら高須』運行開始。透析患者さんの『足』として通院支援。
- 29号 2001年3月(平成13年)
 - 室戸クリニック開院
- 32号 2002年10月(平成14年)
 - 新病院新築移転特集
 - 野球同好会発足!!
- 34号 2003年10月(平成15年)
 - 糖尿病教室紹介(糖尿病外来 近森二正先生、末廣正先生 2人体制へ)
- 36号 2004年9月(平成16年)
 - 第1回『Hello! This is NST.』連載開始
- 38号 2005年10月(平成17年)
 - 糖尿病療養指導士 今春誕生
- 41号 2006年7月(平成18年)
 - 日本透析医学会ポスター部門でゴールアンリボン賞受賞
 - 大田和道副院長発表
- 43号 2007年1月(平成19年)
 - 『ふれあい』本格的にカラー展開開始
- 44号 2007年4月(平成19年)
 - 糖尿病について、毎日新聞2ページにわたって本人掲載。
 - 近森二正先生のインタビューなど
- 49号 2008年7月(平成20年)
 - 高知市総合防災訓練で救護病院として大活躍!!

院内誌『ふれあい』が語る100号の歩み



54号 BHI賞 院内紙部門で『ふれあい』が入選・紹介 (2009年10月) 手前みそにはなりますが…。(応募作品を掲載しました)



61号 「はるか」オープン (2011年7月) 尚書会に介護施設誕生。



38号 当院初の糖尿病療養指導士誕生! (2005年10月) 現在は県下一の糖尿病療養指導士数を誇る当院。この年、当院初となる4人の糖尿病療養指導士が誕生した。



32号 新病院新築移転特集 (2002年10月) 高須から大津に新築移転「安心」と「ゆとり」ある病院へ。



32号 野球同好会発足!! (2002年10月) 院内の野球好きが集まり、生まれ変わった野球部。楽しむことをモットーに練習を重ねる。



23号 大水害・本院も冠水被害特集 (1998年11月) 1998年に起こった大水害。当時高須にあった本院も冠水した。紙面の写真は病院から駐車場付近を撮影したもの。患者搬送のゴムボートも写っている。(見出しと本文1行目の「10月」は「9月」で、編集紙面上の誤りです)

100号 2021年6月 (令和3年)	99号 2021年2月 (令和3年)	97号 2020年8月 (令和2年)	96号 2020年6月 (令和2年)	94号 2019年10月 (令和1年)	93号 2019年8月 (令和1年)	88号 2018年4月 (平成30年)	84号 2017年4月 (平成29年)	81号 2016年7月 (平成28年)	78号 2015年10月 (平成27年)	75号 2015年1月 (平成27年)	74号 2014年10月 (平成26年)	72号 2014年4月 (平成26年)	70号 2013年10月 (平成25年)	65号 2012年7月 (平成24年)	63号 2012年1月 (平成24年)	62号 2011年10月 (平成23年)	61号 2011年7月 (平成23年)	56号 2010年4月 (平成22年)	54号 2009年10月 (平成21年)
●『ふれあい』100号達成	●室戸クリニック 開院20周年	●新型コロナウイルス感染防止の取り組み	●開院45周年 池辺弥夏理事長 新体制発足記念特集	●大田和道院長、ファイティングドックス始球式	●そらまめ教室 祝100回記念	●外来診療予約センターを設置 病院対抗高知野球リーグ悲願の初優勝果たす	●TAKASUビーンズ発足	●「透析支援システム」導入	●手術支援ロボット「ダビンチ」導入	●訪客たかす、居宅たかす開設 病棟の一部を地域包括ケア病床に変更	●ワークライフバランス実現へ	●慰安旅行特集 東京・大阪・伊勢・台湾へ	●寺尾尚民理事長ならびに 近森二正糖尿病内科部長の喜寿をお祝いする会	●安芸診療所の耐震・増築工事が完了	●紙面リニューアル表紙の装いカラフルに 編集以外の紙面作成を指示し、デザイン会社に依頼	●安芸診療所 開院30周年	●「介護付有料老人ホームはるか」オープン	●第1回KAREN発表大会開催 最優秀賞は透析室	●BHI賞 院内紙部門で『ふれあい』が入選

院内誌『ふれあい』が語る100号の歩み



96号 開院45周年 池辺弥夏理事長 新体制発足記念特集 (2020年6月)

寺尾理事長から池辺新理事長へ。 広報委員スタッフ、池辺新理事長インタビュー。



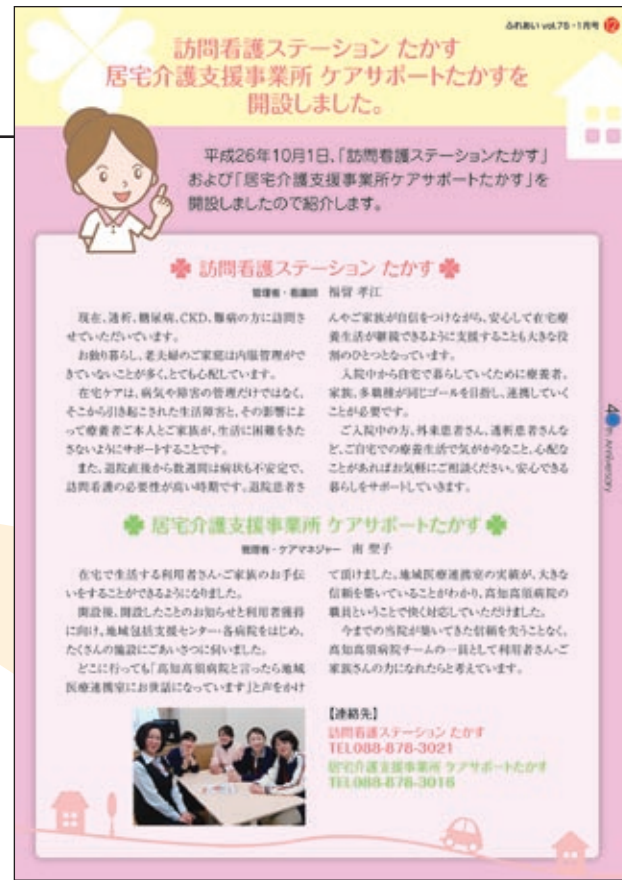
100号 ふれあい100号達成!(2021年6月) 船上結婚式で表紙を飾る。



88号 病院対抗高知野球リーグ初優勝 (2018年4月) 万年ブービーからの脱却。 悲願の初優勝!!



94号 大田和道院長、ファイティングドックス始球式 (2019年10月) 思いはストライク!・届かず。



75号 訪見たかす、居宅たかす開設 (2015年1月) 在宅との懸け橋、より身近な医療へ。 2014年10月、訪問看護ステーションたかす、居宅介護支援事業所ケアサポートたかすが開設。また同じく10月に病棟63床のうち、27床が地域包括ケア病床に変更された。



78号 最先端の手術機器 手術支援ロボット「ダビンチ」導入 (2015年10月)



62号 附属安芸診療所 開院30周年 (2011年10月) 県東部に根付いて30年、開院30周年を迎えた安芸診療所。紙面では当初8人でスタートしたことなどを院長や患者さんの文章を交えて伝えた。



63号 紙面リニューアル (2012年1月)

はるか
だより

紙芝居としばてん踊り

～ はるかでの「夏」を満喫 ～

介護付有料老人ホーム
はるか 介護福祉士
濱田 真菜
(はまだまな)

皆さん、「えんこう」を知っていますか?高知では、河童のことを「えんこう・しばてん」というのは有名な話だと思います。

今月の『はるか』行事では、夏にぴったりの高知のえんこう昔ばなしを紙芝居で披露しました。途中で笑いが起きたり「面白い!」と掛け声があったりと、皆さん真剣に聴いて下さいました。

その後は、頭にお面をつけて「えんこう」に扮した職員たちが出てきて「しばてん踊り」を披露。この日のために、職員たちはそれぞれの家でお手本の映像を見ながら何度も練習をしてきました。「手はどうやったっけ?」「足はこう?」などと、動きを覚えるのにひと苦労…。



そうして一生懸命覚えた踊りは中々の盛り上がりで、皆さん自然と笑顔に。懐かしさや楽しさのあまり、一緒に踊り出す方や歌い出す方、手拍子をされる方もいらっしゃいました。

最後には、夏らしく美味しいそうめんを皆でいただきながら、「おいしいねえ」「ペロッと食べれるちや」など話しながらあつという間に完食。『はるか』での「夏」を満喫した1日となりました。

分院
だより

イカ釣り女子の奮闘記

～ ライバルがいてこそその大物上げた ～

東部
臨床工学技士
山本 希穂
(やまもと きほ)

分院では8人ほどで、毎年春と秋にエギング(疑似餌)によるイカ釣り大会を行っています。

いつも1位を目指すのですが、1年目最下位(笑)、2年目こそはせめて入賞くらいはと意気込みましたが、最大のライバル女子に大物を釣られ結果惨敗(泣)。そして、今年の春の大会でこのライバルだけには負けたくないと火が付き、ついに1.7kgのイカを釣り上げました。

釣り上げた瞬間、今まで私が釣ったイカをはるかに超える大きさで、体中が震えました。おまけに優勝しました。

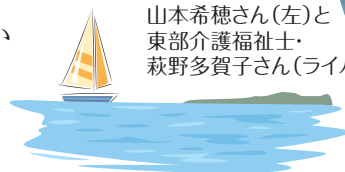
私が、ここまで釣りにのめり込めたのは、負けず嫌いな性格と周りの仲間の存在でした。これからも腕を磨き、釣り仲間と楽しく釣りを続けていきたいです。

今年の秋の大会も優勝を目指します。



1.7kg!の大物イカ

釣りガールの山本希穂さん(左)と東部介護福祉士萩野多賀子さん(ライバル:右)



たかす制服 コレクション vol.14 看護部

病院内で見かける、さまざまな制服。実は職種ごとに違うってご存知ですか。意外と知られていない当院の制服を、ぜひ皆さまに紹介していきたいと思います。

今回ご紹介するのは看護部の制服。動きやすく、機能的なうえに、襟元のラインがすっきり見えてみんな若返ったねと患者さんから好評です。



第53回 人生いろいろすずなりリレー

松林 玲佳さんから →
透析室2 看護師 久保 奈央(くぼ なお)さん



旧加田キャンプ場

CAMP LIFE

～ キャンプは自由! キャンプは無敵! ～

透き通るような新緑の葉っぱに、雨上がりのすんだ空気。夜はパチパチとはぜる焚火の音、空を見上げれば満点の星。そして山の中腹から登る朝日。

キャンプの魅力ってなんでしょう。

風を感じて、陽の光を浴びて季節の変化を感じる。忙しい日々から抜け出して思いきり深呼吸をすること。家以上に心地よくつろげるお気に入りの空間で心と身体をゆり、開放すること。大切な人たちと心ゆくまで語り合うことです。

キャンプは自分たちで全てを行い、運営する楽しみがあります。テント設営や料理、遊びや自分のスタイルなど、自然の中で今あるものをフルに活用してそれぞれが思うキャンプを企画する。これがキャンプの醍醐味です。また非日常に身を置く事ができるキャンプは友人や家族のいつもと違う一面が見られます。

そんな中で、一緒に焚き火でリラックスしたり、些細なことに喜び、じっくり語り合うなど、深いコミュニケーションがとれ、人と人の繋がりや、家族・友人・自然のありがたさを教えてくれるのもキャンプならではの魅力です。

キャンプの魅力にあなたもハマってみませんか?



ニューフェイス紹介

2021年4月2日～2021年8月16日

①趣味 ②病院の印象 ③自己PR ※部署別に掲載



透析室 看護師
弘田 尚子
ひろた なおこ

①映画・アニメ鑑賞
②ロビーは解放感があり清潔で落ち着いた印象で、職員の方も笑顔で優しく安心できました。
③透析看護は初めての分野ですが、1日でも早く戦力になれるよう努力します。



外来 看護師
藤澤 加奈子
ふじさわ かなこ

①料理、園芸
②院内は開放的で清潔感があり、スタッフのみなさんも明るく温かい雰囲気を感じました。
③笑顔で患者さんに満足してもらえる看護が出来るように、精一杯頑張りたいと思います。



透析室 クラーク
森本 佳子
もりもと よしこ

①城跡巡り、100名城スタンプ集め
②清潔感があり、明るく広々とした印象です。
③ワインを飲むことがマイブームです。



画像診断部 放射線技師
濱田 香菜子
はまだ かなこ

①食べること
②院内は綺麗で清潔感があり、職員の方々がとても明るく丁寧に対応していると感じました。
③早く仕事を覚えて、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



介護付有料老人ホームはるかホームヘルパー
大坪 真理子
おおつば まりこ

①アウトドア、旅行
②清潔感があり開放的。でもどこかノスタルジックで落ち着いた印象を感じました。
③介護の仕事に誇りを持ち、笑顔と感謝の気持ちを忘れません。どうぞ宜しくお願いします。



車輦 運転手
松浦 眞治
まつうら しんじ

①釣り、ソフトボール
②面接に行った時、待合のイスの配置、ゆったりとした空間におちつきを感じました。
③アユ友掛けが好きで釣られても釣れなくても楽しいです。やさしい運転を心がけています。



病棟 看護師
細川 真里
ほそかわ まり

①ガーデニング
②とても広くて、明るく清潔な印象です。
③不器用な性格ですが、少しでも早く仕事を覚え貢献できるよう頑張ります。



外来 看護師
増本 加奈
ますもと かな

①音楽鑑賞
②広々としていて清潔感ある病院だと思いました。
③一日でも早く業務に慣れるよう一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。



画像診断部 放射線技師
寺内 佑弥
てらうち ゆうや

①フットサル
②1階の大きな窓から入る太陽の光が明るく照らし、とてもきれいな印象を受けました。
③友達とフットサルをしているので体力を活かして一生懸命頑張ります、よろしくお願ひします。



栄養部 調理員
机 こはる
つくえ こはる

①ドライブ、ゲーム
②働かれている皆さんがテキパキと働いていて、私も皆さんと同じ様に働きたいと思いました。
③少しでも早く仕事を覚えて一生懸命がんばりたいと思います。よろしくお願ひします。



車輦 運転手
弘田 治
ひろた おさむ

①釣り
②看護師さんや受付の方が優しく丁寧な感じでした。
③患者さんに接する時は笑顔を手掛けたいです。



透析室 看護助手
角田 晃子
つのだ てるこ

①カラオケ
②病院の印象は、ベッドの多さと中が広いことに驚いてしまいました。
③前職とは職場の雰囲気も変わり、笑顔と元気をお届け出来るよう頑張りたいと思います。



栄養部 調理員
池上 美咲
いけがみ みさき

①格闘技を見ること
②広くて綺麗だなと思いました。
③新しい環境で明るく頑張ります。



車輦 運転手
谷村 浩治
たにむら こうじ

①特になし
②清潔感があって明るい。
③特になし



車輦 運転手
山本 盛彦
やまもと もりひこ

①自動車・陶芸・アウトドア
②健康診断を受診しましたが、医師や看護師の方々がとても親切で優しく明るい印象でした。
③長年建設関係の仕事で長時間運転してました。これからも安全運転で無事故を心掛けます。

RKC高知放送・丸山アナウンサーの研修を受講しました

管理部医事課 主任
溝淵 由莉 (みぞぶち ゆり) さん

6月29日、RKC高知放送・丸山アナウンサーによる「話し方教室」があり、参加させて頂きました。

人前で話すために過去の失敗にとらわれてはいけないというお話でしたが、大半の人は人前で失敗した嫌な思い出があり、人前で話すことを苦手としています。

しかし、自分の失敗体験を自分が思っているほど、ほかの人は覚えていないこと、自分は失敗した自分を責めるけど、他人はそこまで責めていないことに気づき、救

われたという体験談を拝聴し、自身のことについて思い返してみると確かにそうだなと思いました。

また、「話術」とは話の目的を伝える技巧・技術であり、話術の前提に「好意・真心」があることが一番大事であり、それをベースに明確な発音を行います。

具体的には、五感を使って物事を表現する癖をつ

ける、目的(テーマ)をはっきりさせ、相手の身になって考え話すということでした。話し方にエチケットやマナーはあるが正解はない、個性的であれ、人格や人間を通して伝わるものもあるということも教わりました。

私たち医事課職員は病院の顔でもあります。対面のみならず相手の表情が見えない電話対応でも、「好意・真心」を持って、明確な発音を心掛けて、日々務めたいと思いました。

最後に、研修でとても楽しかった滑舌練習を皆さんも一緒にどうぞ。



●ぬきにくいくぎ ひきぬきにくいくぎ
くぎぬきでぬくくぎ

●新設診察室視察

●この竹垣に竹立てかけたのは
竹立てかけたかったから 竹立てかけたのです



糖尿病療養指導士に合格しました

透析室 副主任
曾我部 紘暢 (そがべ ひろのぶ) さん

今年、糖尿病療養指導士に3人の職員(岩瀬涼晟看護士、吉本奈美看護士、曾我部紘暢看護士)が受験し、全員合格することができました。

近森一正先生、末廣正先生には講義や事例検討のご指導などをしていただきました。本当にありがとうございました。

もちろん、個々の地道な努力もあってこそ実った結果だと思っています。

糖尿病療養指導士とは、2000年に設立された日本糖尿病療養指導士認定機構により認定されるもので、現在の認定者数は全国で約2万人となっています。(ちなみに当院には現在28人が在籍しています)

糖尿病療養指導士は、高度かつ幅広い専門知識をもち、糖尿病治療にもっとも大切な自己管理(療養)を患者に指導する医療スタッフなのです。

資格取得することは、自身のスキルアップやモチベーション向上に繋がります。日々の業務そのものが資格取得の勉強につながるの、興味がある方は今すぐにも取り掛かり意識を変えると、見えてくるものが増えてくると思います。

参考資料もありますので、興味のある方は声をかけて頂けたらと思います。



見事合格!3人のうちの
透析室看護師 岩瀬 涼晟さん

